



QREC「新興国アントレプレナーシップ」プログラム実施 ー開発途上国での体験学習をもとにしたイノベーション人材育成の試みー

概要

九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター（QREC）は、チャレンジ意識（アントレプレナーシップ）醸成と、課題発見から新たな価値創造・提案に至る手法（デザイン思考）修得を目指し、学生 20 人に対して、バングラデシュの農村での 1 週間の体験学習を含む、新たなイノベーション人材教育プログラムを開始しました。同様のプログラムは、米国のマサチューセッツ工科大学（MIT）やスタンフォード大学で実施されていますが、単独での自主プログラムは我が国初です。

背景

世界には、水、医療、農工具等、最低限の生活必需品にアクセスできず貧困に苦しむ人が大勢存在していますが、このような開発途上国・地域に住む人々（Base of Pyramid：通称 BOP）のニーズは、先進国で使われる製品やサービスと異なっています。すなわち BOP では、先進国の技術やサービスをそのまま適用するのではなく、BOP のニーズをよく把握して製品設計やサービスに生かすことが重要です。また、BOP 人口は世界人口約 56 億人のうち約 7 割を占めると言われ、かつ著しく成長しています。従って、その市場は世界の多くの企業が注目しているところです。

最先端の技術やビジネスを学ぶ九州大学の学生に対し、途上国現地の実情に触れ、途上国対応の新たな製品やサービス開発を検討提案するプロセスを学習・体験させることは、QREC の目指す多様なニーズに対応できるイノベーション人材育成の観点から極めて重要であるため、本教育プログラムを開始しました。

内容

本プログラムは、九州大学の全学部から希望者を募り、20 人の学生を選抜、我が国で BOP 課題解決のための適正技術開発プロジェクトを実施している団体 See-D と、アジアの開発途上国バングラデシュを基盤に BOP の課題解決と新ビジネス開発・普及を推進しているグラミンググループのサポートを受け実施しました。イノベーション創造手法として評価の高いデザイン思考の手法を活用し、本年 6 月末から 9 月まで、福岡で 4 回のワークショップとバングラデシュ農村での約 1 週間の現地フィールドワークを行い、9 月 21 日（土）には、参加した学生 4 グループによる提案発表会を予定しています。

<授業日程>

事前講義：6 月 29 日（土）、6 月 30 日（日）、7 月 14 日（日）

（概要）QREC の Web サイト参照

<http://www.qrec.kyushu-u.ac.jp/events/view/52>

現地講習：8 月 16 日（金）-8 月 25 日（日）バングラデシュ訪問

（概要）IROP の Web サイト参照（英語）

http://www.gramweb.net/m_news_dtls.php?id=123

http://www.gramweb.net/m_news_dtls.php?id=124

講義：9 月 7 日（土）、9 月 21 日（土）

（最終講義 9 月 21 日概要）QREC の Web サイト参照

<http://www.qrec.kyushu-u.ac.jp/events/view/56>

場所：箱崎キャンパス 産学連携棟 I ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター 2 階
シリコンバレールーム（キャンパスマップ⑱番）

<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/map/hakozaki/hakozaki.html>

<授業シラバス>

全学教育科目（総合科目）

<http://syllabus.kyushu-u.ac.jp/search/preview.php?code=1390509010>

大学院共通教育科目

<http://syllabus.kyushu-u.ac.jp/search/preview.php?code=1390681013>

<現地講習の様子>



■効果

本プログラムは、九州大学からイノベーション人材を輩出することを目的としており、以下のような効果が期待されます。

- ① BOP 問題の現状に触れ、その解決にチャレンジする意欲（アントレプレナーシップ）を喚起する。
- ② BOP の課題解決をテーマとし、具体的価値創造と提案に至るプロセス手法（デザイン思考）を学ぶ。
- ③ BOP 市場における適正技術・サービスが持続するビジネスモデルのあり方を学ぶ。
- ④ BOP 問題の理解とその解決に向けた様々なアプローチ方法を理解し学習する。

■今後の展開

社会における課題発見と、それを解決するための価値創造の手法たるデザイン思考は、QREC の行うアントレプレナーシップ教育にとって基盤的な要素であり、また BOP 分野は、アントレプレナーシップ教育を行う場として格好の場です。今後もバングラデシュ以外の他の途上国も含め本プログラムを継続するとともに、提案されたプロジェクトの実現に向けフォローアップして行く予定です。

【お問い合わせ】

九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター長 谷川 徹
電話：092-642-4360
FAX：092-642-4015
Mail：tanigawa@astec.kyushu-u.ac.jp